

放課後等ディサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和6年 1月 15日

事業所名：こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員規定は満たしています。活動やグループの状態に応じて棚、机等配置を変えるなどして使いやすいスペースの工夫を適宜しています。	はい 29 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 2	・活動しているときの様子を見ていないので分からない	引き続き、活動に応じて必要なスペースを確保していきます。 また、保護者の方が施設内を見学して頂きやすいよう声をかけさせて頂きます。
	2 職員の適切な配置	1つのグループに2～3名の担当職員を配置し、お出かけ企画等の活動に応じて増員しています。	はい 31 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 1		引き続き、活動に応じて必要な職員を配置するとともに、個別での対応が必要な場合は職員内で連携をとってしっかり関わられるようにします。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要に応じて絵カードでスケジュールを提示したり、クッキングの手順を写真で提示したりしています。	はい 30 どちらでもない いいえ わからない 4	・活動しているときの様子を見ていないので分からない ・時々子ども達の活動の様子を見させて欲しいです。	引き続き、個々に合った提示の方法を検討しながらわかりやすい環境・活動内容を提供していけるようにします。また、保護者の方が施設内や子どもの様子を見学して頂きやすいよう声をかけさせて頂きます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝の清掃、除菌のためのふき取り、週1回の滅菌庫での玩具の消毒を行っています。	はい 28 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 3	・こども園の子とも接するのたまに感染症(インフル・コロナ)が心配 ・活動しているときの様子を見ていないのでわからない。	感染症が流行した場合は、グループの方にお知らせし、状況に応じた対応をさせて頂いています。また、保護者の方が施設内や子どもの様子を見学して頂きやすい声をかけさせて頂きます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回の職員会議や5週目等の療育が休みの日を利用して業務改善の内容を検討しています。また、必要に応じて時間を作り会議の場を設けています。	/		引き続き、会議の中で業務改善を検討していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	業務上での苦情は第三者委員会に報告し、講評を受けています。	/		第三者委員会の評価を受けた際には全職員に周知し業務改善に取り組んでいます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員がそれぞれ必要な研修に参加しています。職員同士では、研修報告を行い情報共有をしています。また、専門職による職員研修も行っています。	/		今後も職員の資質の向上のための会議や研修を行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画の作成	各担当者が実際に子どもの姿を見たり保護者からの聞き取りを行いながら支援計画の作成を行っています。また月に1回の職員会議において支援方法についての相談ができる時間を設けています。	はい 31 どちらでもない 2 いいえ わからない		引き続き、子どもの姿を見たり保護者からの聞き取りを行いながら支援計画の作成を行っていき、保護者の方と現状の課題などを共有していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等ディサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、できるだけ具体例を挙げるなどしてわかりやすく書けるように努めています。	はい 31 どちらでもない 2 いいえ わからない	・もう少し、手先を使う遊びや運動などとお金に繋がる買い物ごっこなどに繋がる遊びも取り入れてほしい。	子どものニーズをもとに活動内容を考え、その中で必要な力を育てていけるようにします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	療育後に職員同士で振り返りをしながら現状把握と実施内容の見直しを行っています。	はい 30 どちらでもない 2 いいえ わからない 1		支援計画に記載した具体的な内容を実践していきながら、子どもの困りを軽減していきようにします。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各グループで月間活動予定を立てることで活動の見直しを持ちながら、各グループの担当者と相談し詳細な活動内容を決定しています。	/		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇には、療育時間を変更し療育を実施しています。	/		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要に応じて活動のある程度固定化して定着を図っていることもあります。グループによっては、子どもたちが計画を立てた活動について実行できるよう支援をしています。	はい 27 どちらでもない 4 いいえ わからない 1	・去年は、食べることばかりな気がします(こどもらが案を出すからなのか)。 ・毎回楽しい活動を考えていただいているので子どもも楽しく通えています	引き続き、子どもの主体的な意見を取り入れながら期待や楽しみ、安心感を持って活動に参加できるようにしていきます。活動のねらいをお伝えし、保護者の方と共有できるように努めます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	活動前に担当者同士で活動内容や役割を確認、相談してから活動を行っています。	/		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	担当者間で療育終了後や時間を合わせて話し合い、支援や子どもの気になった部分があれば次回どうするのか等の話しをしながら記録をとっています。	/		
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録を見ることで子どもの姿が捉えられるような日誌になるようにしています。それを基に支援の改善を考えています。	/			
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回支援計画の見直しを行っています。モニタリングは他事業所を含め、月に1回利用されている方の様子を共有しています。	/			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	必要に応じて小集団や個別療育の担当者が担当者会議に参加しています。			
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	小学校の担任の先生が見学にきたり、担当者が小学校に訪問したりして子どもの状態や情報の共有を行っております。また、トライアングル会議に積極的に出席しています。			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	最終支援報告書を作成し、今までの支援内容や子どもの様子の情報提供を行っています。			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	ひょうご発達障害者支援センター クローバーに研修を依頼し実施しました。			
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公共交通機関を利用したり、社会資源を活用した活動を積極的に取り入れています。	はい 18 どちらでもない 5 いいえ 1 わからない 9	・地域との交流活動はあるのかわからない	引き続き、地域資源を利用しながら活動の幅を広げていきます。活動内容を写真やメールで保護者の方にも分かりやすくお伝えしていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	太子福祉フェスティバルに参加し、地域の方や子どもたちとの交流を行いました。当日ご利用の子ども達と一緒に参加をしました。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・毎回契約時に重要事項説明書で説明をしています。契約内容の変更時には変更内容をお伝えしています。療育終了後のフィードバックやメール配信で毎回支援内容をお伝えしています。	はい 31 どちらでもない 2 いいえ わからない	引き続き、保護者の方が安心して利用してもらえるよう契約内容の変更があった時には説明会を開かせていただきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画は面談時間を設定し、読み合わせながら内容の確認を行っています。了解を頂き捺印をいただいています。	はい 32 どちらでもない 1 いいえ わからない	支援計画を説明する時には子どものプラスの力に視点を置き、分かりやすい説明を心がけていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	年に数回親講座を実施し、保護者の方に参加していただいています。保護者のニーズに応えられるように内容も工夫しています。また講座前や講座後にはアンケートを行い、よりよい講座内容を行っています。	はい 32 どちらでもない 1 いいえ わからない	引き続き保護者のニーズに合わせた講座を開催していきます。より分かりやすい親講座のご案内方法を検討していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回小集団療育終了後に、保護者の方に対してフィードバックを行ったり、メール配信でお伝えをしています。必要に応じて連絡帳でのやりとりや面談の時間を設けています。	はい 31 どちらでもない 2 いいえ わからない	・子どもの発達状況や課題についてはまいち。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別でお話をさせていただきます。連絡事項や相談がある時には連絡帳を準備し記入していただいています。	はい 31 どちらでもない 2 いいえ わからない	・助言はないと思う
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を設けていません。親講座の時に保護者同士で話をする機会を作っています。保護者交流会を企画し実施しています。	はい 20 どちらでもない 5 いいえ 1 わからない 6	・保護者同士の交流をもとめていないのでわからない。 ・保護者同士の交流の場はよく作って下さっています
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があったときには当日に保護者と面談を行ない対応しています。	はい 24 どちらでもない いいえ 1 わからない 7	・苦情を言ったことがないので分からない
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	小集団終了後にフィードバックしたりメール配信をしてお伝えをしています。写真でお伝えすることもあります。	はい 29 どちらでもない いいえ 1 わからない 2	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月るぼろ便りをメールで配信し、予定や各グループの活動紹介をしています。	はい 32 どちらでもない いいえ わからない	・毎週メールで活動内容が送られてくるので他の放デイより活動内容がよくわかる。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 30 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 5	個人情報の管理を徹底し、安心してご利用して頂けるように努めていきます。		
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	はい 25 どちらでもない 1 いいえ 1 わからない 5	・玄関に感染症対応マニュアルの貼りだしがあるのはたまに見かけますが、他のマニュアルは見た覚えがないので実施してほしい。	必要に応じて保護者の方へも周知していきます。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場面を想定し訓練を実施しています。	はい 14 どちらでもない 3 いいえ 1 わからない 13	・聞いたことはないのぜひ訓練を取り入れてみてはどうですか？	引き続き避難訓練を実施していきます。避難訓練の予定をるぽろ便りでお知らせしていきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する責任者を選定し、虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施しています。	/		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に説明しています。身体拘束に対する考え方、受け止め方の共通理解をし、必要な場合においては適切な手順で対応します。	/		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、アレルギーについてチェック記入していただき、クッキングの際には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないかの確認をしています。	/		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリとした場面があったときには報告、記載し、リスクマネジメント会議で職員に周知します。	/		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		はい 31 どちらでもない 1 いいえ わからない	・毎週楽しみにしている。 ・毎月楽しく通所させていただいております。大変感謝しております。いつも丁寧に見てくださりありがとうございます。
	2 事業所の支援に満足しているか		はい 31 どちらでもない 1 いいえ わからない	・アンケート定期的にありがとうございます。私個人の意見としては、アンケートは携帯からも紙面でもどちらでもよいと思いますが、その結果もできれば知りたいです。 ・個別があれば助かります。

今後も保護者や子供たちに安心してご利用いただけるように努めていきます。子ども達が成長する過程の中で、るぼろでの経験を活かせるような活動を取り入れていきます。個別療育については、るぼろ内で検討し必要に応じて声をかけさせていただきます。